

第 5 章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年4月現在79ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第 22 図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第16表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ビット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文時代前期3、古墳時代前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文時代早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137～174	1975.9.4～12.5	3,055	事前調査	縄文時代住居跡9、古墳時代住居跡6、奈良平安時代住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文時代住居跡2(7・8)、奈良平安時代住居跡6(1・2・4～6・9)、焼土散	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ビット	埋(Ⅰ)
宅地添3次(C地区)	川崎230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸2、地下坑1、溝1	埋(Ⅰ)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期時代住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(Ⅱ)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋(Ⅱ)
6次	川崎102-5	1979.12.3～8	30	プレハブ家屋	縄文時代前期住居跡2、平安時代住居跡2、縄文土器片	埋(Ⅱ)
7次	川崎124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文時代住居跡1、平安時代住居跡1	埋(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口172-1・2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安時代土器散布	埋(Ⅷ)
10次	川崎224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋(Ⅹ)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	遺構遺物なし	埋(Ⅺ)
88試	市道402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1	埋(Ⅺ)
89試(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10～18)	1,045	住宅建設	遺構遺物なし	埋(Ⅻ)
89試(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	遺構遺物なし	埋(Ⅻ)
12次	川崎字宮前149-4・5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋(Ⅼ)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良時代住居跡1	埋(Ⅼ)
90試(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認	遺構遺物なし	埋(Ⅼ)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文時代前期住居跡1、貝塚、平安時代住居跡1	埋(Ⅼ)
15次	川崎字宮後口160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安時代住居跡7、土坑1	埋(Ⅽ)
92試(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	遺構遺物なし	埋(Ⅾ)
93試(1)	川崎2-2-10・11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構遺物なし	埋(Ⅾ)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	遺構遺物なし	埋(Ⅾ)
94試(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	遺構遺物なし	埋(ⅰ)
95試(1)	川崎2-7-2・3	(1995.10.13～16)	1,126	消防署	遺構遺物なし	埋(ⅱ)
16次	川崎字宮脇150-2・3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場	縄文時代前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安時代住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年教要
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(ⅲ)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安時代住居跡1	埋(ⅲ)
97試(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(ⅲ)
97試(2)	川崎字宮後口165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構遺物なし	埋(ⅲ)
97試(3)	川崎字宅地添199-1・2・5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	遺構遺物なし	9年教要
98試(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文時代前期土坑1他	埋(ⅲ)
市道402号線2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路	縄文時代前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19～22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	埋(ⅲ)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋(ⅲ)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安時代初頭住居跡1	埋(ⅲ)
01試(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29～30)	825	宅地造成	遺構遺物なし	埋(ⅲ)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構遺物なし	埋(ⅲ)
02試(2)	川崎210-1、2の一部	(2002.10.28～29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(ⅲ)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構遺物なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構遺物なし	14年教要
02試(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線	遺構遺物なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6～7)	257	個人住宅	遺構遺物なし	埋(ⅲ)
03試(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8～19)	381	個人住宅	遺構遺物なし	埋(ⅲ)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16～18	88		古墳時代初頭竪穴住居跡1【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14～15)	421	個人住宅	平安時代住居のカマドの一部	埋(ⅲ)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	遺構遺物なし	埋(ⅲ)
20次	川崎字宮脇153-5	(2005.11.22～27) 2005.11.28～12.2	257	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良時代住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1、174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構遺物なし	市内4
25	川崎字宅地添203-1の一部、203-3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内6
26	川崎字宅地添230-5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、土坑、ビット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15～21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字宅地添230-7	(2008.7.4～9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、土坑、ビット	市内6
29	川崎字宅地添230-1	(2008.7.9～11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良平安時代住居跡2、溝3	市内6
30	川崎字宅地添230-6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良平安時代住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮後161-5の一部、161-6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期～後期住居跡2、奈良平安時代住居跡2、ビット12	市内8
32	川崎字宮脇140の一部	(2011.2.24～25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良平安時代住居跡3、土坑2、建物部分本調査	市内10
34	川崎2-5-4	(2011.7.2～26)	117.8	分譲住宅	遺構遺物なし	市内14
35	川崎2-6-4～7-9	(2011.9.27～11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1、奈良平安時代住居跡1他	市内14
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15～26) 2012.1.10～2012.1.17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡6他	市内14
37	川崎宅字地添232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	須恵器片、遺構なし	市内15
38	川崎字宮後165-3	(2013.2.25) 2013.2.26～27	176	個人住宅	縄文焼土跡2・中世以降ビット5	市内15
39	川崎字宅地添227-1	2013.3.4～5	1,121.33	個人住宅	遺構なし、縄文土器、土師器、須恵器、焙烙	市内15
40	川崎1-1-7	(2013.10.11～17)	447	共同住宅	遺構なし、陶器	市内18
41	川崎218-1他	2014.8.1～10.31	419	道路	縄文時代住居跡2・炉穴15・土壇8・ビット15、古代住居跡3、近世の竪穴跡1・溝1・ビット3、縄文土器、石器、石鏃、土師器破片、須恵器破片	川崎遺跡 第41次(原埋文調査事業団報告書第420集)
42	川崎宅地添233-3	(2015.6.26・7.2)	200	集会所	平安時代住居跡1、須恵器、土師器、土器片	市内22
43	川崎字宮後165-5・8・9	(2015.6.26)	175.21	個人住宅	焼土、土器片	市内22
44	川崎字宅地添202-1・8	(2015.11.24～12.10) 2016.1.5～20	273.56	分譲住宅	縄文時代住居跡2、奈良平安時代住居跡1、貝塚1、地下式坑1、土坑3、ビット7、溝1、縄文土器、石器、石製品、土師器、須恵器	市内19
45	川崎字山向8-4、7-7・8	(2017.2.24)	254.72	個人住宅	溝1(近世以降か)、焙烙、石器(尖頭器あり)	未報告
46	川崎字宮前101-5、103-8	(2017.3.13)	199	個人住宅	性格不明遺構1、土師器、須恵器	未報告
47	川崎字山向15-1、16-1	(2017.12.19)	749	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
48	川崎宅地添234-1	2018.8.27～30	266	個人住宅	縄文時代住居跡1、近世以降溝、縄文土器、土師器、須恵器破片	未報告
49	川崎1-1-5	2019.2.7・8	509	分譲住宅	根切り溝、遺物なし	未報告
50	川崎字山向10-4の一部	(2014.9.8)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内20

※埋:上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調:上福岡市遺跡調査会報告書、教要:上福岡市教育要覧、市内:ふじみ野市市内遺跡群報告書



第23図 川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)

第17表 川崎遺跡古代住居跡一覧表

住居番号	調査年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉 カマドK	設置壁 カマド	規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1974	第1次LN72	完掘	隅丸方形	760×730×40	カマド	地床炉	60×50	○	N-60-E	3世紀終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	390×320×	K			○	N-5-E	国分		〃
3	1974	第1次LN06	完掘	歪んだ方形	320×320×	K	東			N-13-W	9 C 4半期		〃
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320×320×	K	東	80×90	○	N-83-W	9 C 中葉		〃
5	1974	第1次LN24	完掘	長方形	470×340×50	K	北	120×75	○	N-5-E	10 C 1半期		〃
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320×300×	K	北	40×40		N-42-E	9 C 1半期		〃
7	1974	第1次LN28	西側未掘	(長方形)	×300	K	東	50×60	○	N-69-W	9 C 3半期		〃
8	1974	第1次LN71	東側7割未掘	(方形)	×600								〃
9	1975	第2次LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概報
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)							10 C 1半期		〃
11	1975	第2次LN72	完掘	隅丸方形	250×250×13	K	南	50×80		N-18-E	国分		〃
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720×720	K	北		○	N-32-E	6 C後半	ビット多数、土すい	〃
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390×350	K	東	60×70	○	N-64-E	6 C前半	貯蔵穴有り	〃
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450×370	K	北	100×80	○	N-1-E	10 C 2半期		〃
15	1975	第2次LN19	14住に切られる			K	東				9 C 4半期	支脚がたつたまま	〃
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370×260	K	北	90×80	○	N-4-E	9 C 3半期		〃
17	1975	第2次LN12	南側未掘	長方形	700×						6C	紡錘車	〃
18	1975	第2次LN33	17住と大きく重複し全体不明										〃
19	1975	第2次LN06	完掘	隅丸方形	410×420	K	北東		○	N-45-E	6 C後半	良好	〃
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410×330	K	北	120×120	○	N-29-W			〃
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350×280	K	東	70×60	○	N-87-E	10 C 2半期	22住を切る	〃
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330×320	炉	地床炉				五領		〃
23	1975	第2次LN20	3/5	(長方形)	×350	K	北		○	N-23-E	9 C 2半期	鍛冶工房跡	〃
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50×70	○	N-43-W	鬼高		〃
25	1977	第3次1号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶されたもの	○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次2号住居	完掘	長方形	350×330	K	北	×70	○		国分	鉄製品多い	〃
27	1977	第3次4号住居	(完掘)	長方形	350×400	K	東	170×110	○		国分		〃と埋文調査19
28	1977	第3次5号住居	(完掘)	長方形	350×320	K	東	120×90	○		国分		〃と埋文調査19
29	1977	第3次6号住居	4/5	正方形	440×	K	北	155×90	○		9 C 4半期	焼失家屋	〃
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415×				○		国分		〃
31	1979	第6次1B住居			340×				○		9 C 2半期		埋蔵文化財の調査Ⅱ
32	1979	第6次2号住居	1/3		340×	K	北→東	140×80	○		9 C 1半期	鉄製品多い	〃
33	1984	宅地添第4次3住	完掘	正方形	340×340	K	東	120×100	○		8 C 3半期		埋蔵文化財の調査Ⅶ
34	1990	第13次1号住居	1/2～1/3		390×	K			○		7 C後半		埋蔵文化財の調査13
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340×	K	東		○		9 C 1半期		〃
36	1991	第15次1号住居			395×285	K	北東				9 C～10C		埋蔵文化財の調査14
37	1991	第15次2号住居		正方形	380×380	K	東				9 C中葉		〃
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265×430	K	南東		○		9 C初頭		〃
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580×	K	東		○		8 C末～9 C初頭		〃
40	1991	第15次5号住居	3/4		280×	K	北		○		9 C前半～中		〃
41	1991	第15次6号住居		正方形	425×270	K	北		○		8 C後半	35,36住と重複	〃
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570×	K	北		○		9 C前半	緑釉陶器、焼失家屋	〃
43	1994	第16次1号住居	1/2		450×						9 C前半～後半		未報告
44	1994	第16次2号住居	北西隅のみ								9 C前半～後半		〃
45	1994	第16次5号住居	2/3		440×	K	東		○		9 C前半～後半		〃
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ			K	東						〃
	1994	第16次1号掘立	2/3	長方形									〃
	1994	第16次2号掘立	西側柱のみ	長方形	南北2間						9 C前半～後半	42住と隣接	〃
	1994	第16次3号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						〃	〃	〃
	1994	第16次4号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						〃	〃	〃
	1994	第16次5号掘立	1/2	長方形	南北2間						〃	〃	〃
	1994	第16次6号掘立	完掘		南北3間 東西2間						〃	〃	〃
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400×400	K	東		○		国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査19
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300×300	K	東		○		国分		埋蔵文化財の調査19
49	2001	第19次1号住居	1/2		360×	K					9 C前半		埋蔵文化財の調査24
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320×350	K	北西		○	N-45-W	7 C前半～中		市内遺跡群1
51	2006	第21次1号住居	完掘	方形	410×365×10	K	東	145×125	○	N-106-E	9 C後半		市内遺跡群3
	2008	第25地点1号掘立		長方形	南北2間 東西2間								市内遺跡群6
52	2008	第26地点H28号住居	完掘	方形	349×316×33	K	北	95×83	○	N-16-E	9 C後半		〃
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431×205×24	K	北	70×	○	N-16-E	9 C後半		〃
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424×296×20	K	北	98×71	○	N-4-E	8 C後半		〃
55	2008	第28地点H31 a号住居	北側のみ	(方形)	(390)×(233)×15	K	北	88×84		N-19-E	8 C中～後半		〃
56	2008	第28地点H31 b号住居	北側のみ	(方形)	(404)×325×2				○	N-18-E			〃
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357×295×24	K	東	108×80	○	N-105-E	8 C中～後半		〃
58	2008	第29地点H33号住居	北東のみ	(方形)	(214)×(205)×16	K	東	(65)×(65)	○	N-98-E	8 C後半～9 C初頭		〃
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378)×372×12	K	北	71×90	○	N-16-E	9 C後半	墨書土器	〃
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294×232×26	K	東	141×88	○	N-104-E	9 C前半		〃
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	方形	415×414×21	K	北	88×140	○	N-16-E	9 C後半	灰釉陶器	〃
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375×(105)×17				○	N-5-E	9 C後半	墨書土器	〃
63	2009	第31地点H63号住居		長方形	310×276×29	K		105×90	○	N-7-E	9C		市内遺跡群8
64	2009	第31地点H64号住居		長方形	215×265×15	K		82×40	無	N-88-E	9C		〃
65	2011	第32地点H65号住居	完掘	長方形	355×460×35	K	北東	113×132	○	N-27-E	10C		市内遺跡群10
66	2011	第32地点H66号住居	ほぼ完掘	方形	420×365×50	K	東	49×105	○	N-99-E	8 C後半～9 C初頭		〃
67	2011	第32地点H67号住居	1/2	方形	(220)×330×30	未	未	未	○	N-0-E	10C		〃
72	2011	第35地点H72号住居	プランのみ	隅丸長方形	(370×470)×50	未	未	未	未	未	不明	未掘	市内遺跡群14
73	2012	第36地点H73号住居	2/3	隅丸方形	320×(177)×60	K	北	77×40	○	E-7-S	9 C後半		〃
74	2012	第36地点H74号住居	プランのみ	(長方形)	(90×350)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
75	2012	第36地点H75号住居	プランのみ	(長方形)	(440×450)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
76	2012	第36地点H76号住居	プランのみ	(長方形)	(130×460)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
77	2012	第36地点H77号住居	プランのみ	(長方形)	340×(260)	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
78	2012	第36地点H78号住居	プランのみ	(長方形)	(390)×420	未	未	未	未	未	不明	未掘	〃
79	2015	第42地点H79号住居	プランのみ		(340)×(350)	未	未	未					市内遺跡群22
80	2015	第44地点H80号住居	1/2～1/3	(長方形)	330×140以上				○		9 C代		市内遺跡群19

IV 川崎遺跡第44地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年11月24日～12月10日まで試掘調査、2016年1月5日～20日まで本調査を行った。調査の結果、縄文時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒、貝層を伴う地下式坑他を検出した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため本書では割愛するが、地下式坑内から出土した貝についての報告が十分ではなかったため、本書にて追記する。

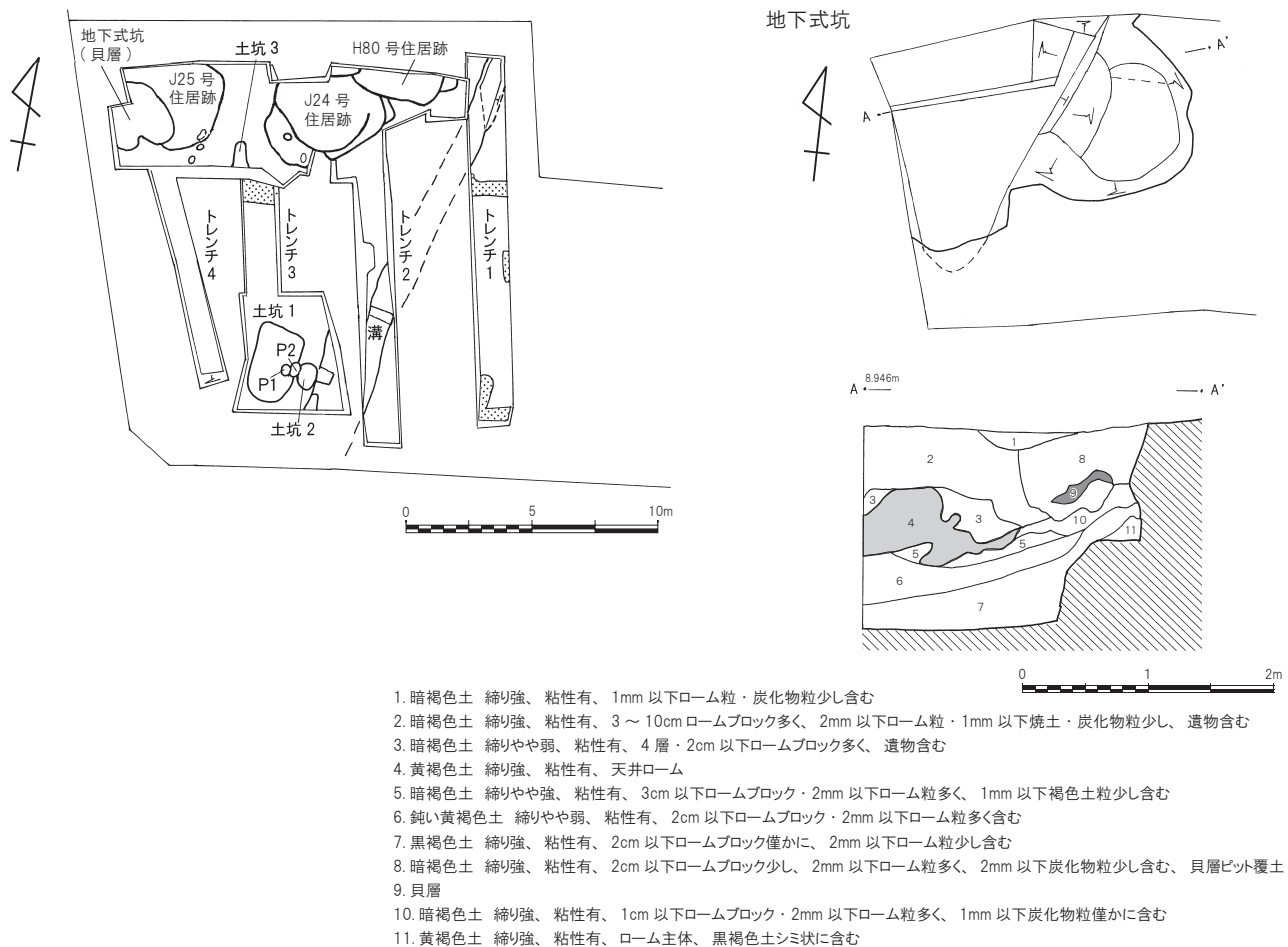
(2) 遺構と遺物

貝層は地下式坑の覆土中より出土した。土層の観察から、地下式坑の埋没過程で廃棄がなされたものと考えられる。貝の詳細については第19表及び第28図に掲載した。

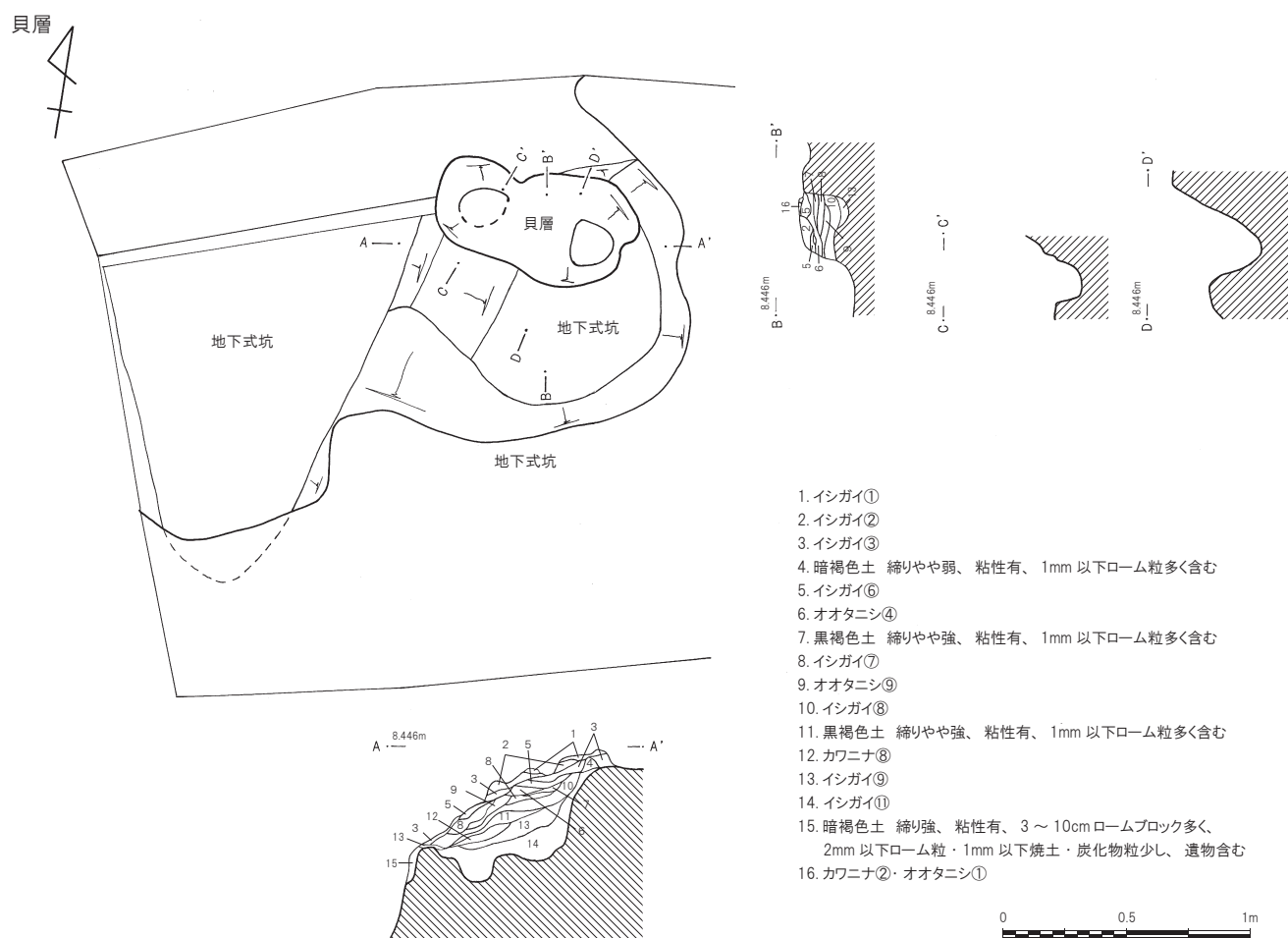
本地点で出土した貝はマツカサガイ・チリメンカワニナ・オオタニシ・マルタニシである。主体はマツカサガイで、全体量の72.6%を占める。次にチリメン

カワニナ、オオタニシと続く。マルタニシは数点確認できたのみである。出土した貝はいずれも淡水に生息するもので、新河岸川で採取したものを廃棄した跡と推測できる。

今回の調査で発見された貝塚は、地下式坑の天井崩落以降あまり間を置かずに廃棄が開始されたものと考えられる。地下式坑の帰属時期は遺構の大半が未調査のため不明である。本地点から南西に約240m離れた第22地点の調査で検出した地下式坑は、出土した瀬戸産の陶器の花瓶から14世紀中葉に帰属する。本地点の地下式坑も同様の時期である可能性が考えられる。また、中世と思われる貝塚としては本地点より約1.3km南の滝遺跡第25地点で確認されている。古代以降と考えられる井戸が完全に埋没した後、新たにピットを掘削して貝類を廃棄している。ここで検出した貝類も主体はマツカサガイで、チリメンカワニナとタニシを含んでおり、本地点の貝類の構成と共通する。周辺の事例を含めて考えると、今回の調査で発見された貝塚も中世以降の所産である可能性が高い。



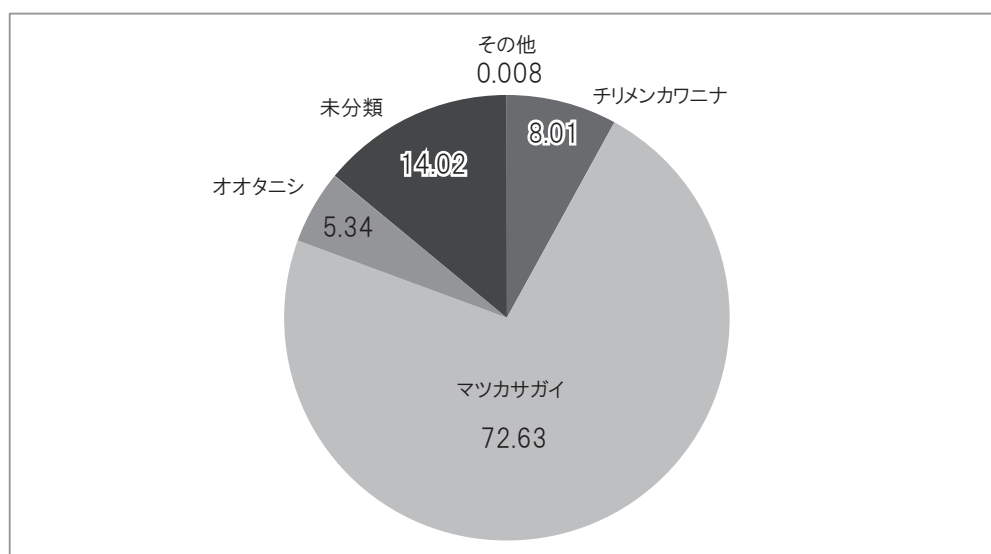
第27図 川崎遺跡第44地点遺構配置図(1/300)、地下式坑(1/60)



洗淨前 全体重量(g)	貝類重量(g)	混貝率(%)
49362.93	5719.43	11.60

チリメンカワニナ	マツカサガイ	オオタニシ	未分類	その他	合計
457.99	4153.8	305.57	801.6	0.47	5719.43

第 19 表 川崎遺跡第 44 地点地下式坑出土貝層の貝類出土量と混貝率



第 28 図 川崎遺跡第 44 地点貝層 (1/30)、地下式坑出土貝層の貝類遺体組成